

「内田産婦人科医院」助産師、内田美智子先生講演会

食卓から始まる生教育

開催日時：平成25年10月18日（金） 13：00～14：30

講演会に先立ち、12：45からPTA活動報告を行います。

場 所：恵那市立岩邑小学校体育館（体育館横入口から入場してください）

駐 車 場：岩村保育園駐車場・岩邑小学校グラウンド

主な経歴

国立熊本病院附属看護学校、国立小倉病院附属看護助産学校助産師科卒業。

福岡赤十字病院産科勤務を経て、1988年、福岡県行橋市にて、産婦人科医の夫とともに内田産婦人科医院を開業。

九州思春期研究会事務局長、福岡県子育てアドバイザー、福岡県社会教育委員



内田美智子先生

「出産・育児も食育も、根底にあるのは『命』への感謝。今は覚悟もないまま親になり、食べ物を単にモノとしか見ていない人があまりに多い」内田美智子先生は危機感を込めてそう語る。22歳で初めてお産に携わり、2500人以上の赤ちゃんを取り上げてきた。誕生の瞬間、すべてがキラキラと輝いて見えた。出産後も子育てを支援するため幼児クラブを主催するなど、「親の自覚」を促す取組に力を入れてきた。若くても母乳育児を続け、離乳食を自分で作って食べさせ、夜泣きなどストレスも多い育児を楽しく実践するママがいる一方、身勝手な母親や性のトラブルを抱えた少女がいた。「たばこ止めきらんけ、母乳やめる」「24時間べったりは嫌です」家事もできない子がそのママ親になる。聞けば、彼女らもちゃんとした食事をさせてもらっていない。「食や命に対する感謝の気持ちがないのは、そう育てられていないから」「食べることは生きることそのもの。最も手を抜いてはいけない事柄なのに、最も手を抜いてしまっている」と指摘する。（西日本新聞より抜粋）



『ご飯を3食、だれかしらと食べることができる
今に感謝しつつ自分なりに食育についてより深く考
えていきたいと思いました』

『毎日一緒に食事をする事や台所で一緒に家事を
するという日常の繰り返しが人を育むとても大切な
ことであると再認識しました』など、心から感動し

たという感想が寄せられています。

10月18日（金）には、ぜひ講演会にご参加ください。参加費は無料です。

主催：恵那市立岩邑小学校PTA